

北六甲台&上山口東の住宅街

福祉だより

ぬくもり

第92号  
平成29年4月20日

西宮市社会福祉協議会  
山口支部北六甲台分区  
分区長 日高 昭夫

●発行/社協北六甲台分区 ●発行日/偶数月 ●編集/北六甲台分区広報部 ●配布エリア/北六甲台・上山口東

# 九十歳

## 話し方教室と落語と… 九十二歳の橋本 清さん



長年にわたり北六甲台コミュニティセンターで「話し方教室」を開いている橋本さんは、大正十四年生まれの元氣者。九十歳を前にした二年前、「話し方教室にはユーモアが必要だ」と落語を習うことを思い立ち、大阪・千林の落語家入門。「伝楽亭 朱珠」の亭号を許され、バスや電車を乗り継いで、落語の稽古に通っていらつしやいます。

橋本さんは、大手企業に勤めておられた約四十年前から大阪・野田阪神にある「話し方教室」で勉強を重ねてきたキャリアの持ち主。「ラポール話し方研究会」を主宰するかわら、大阪で専門学校講師や大阪市生涯

学習センターのインストラクターとして活動されています。

四年前、大阪市住吉区の市民センターで開いた「話し方講座」では、「表面的な話し方の技術だけでなく、人間性や心を相手に伝える姿勢も学べる」指導でした」と参加者から感謝の言葉がありました。また、昨年、塩瀬公民館で開かれた講座でも、「身近な話でわかりやすく、ユーモアもあって大変良かったです」と好評だったそうです。

そんな橋本さんは、毎月のように、北六甲台で開かれる「ふれあい喫茶」の受付で、いつも笑顔のボランティアを勤めている人氣者。また、今年初めに開催された「ふれあい交流会」では、習い覚えた古典落語を披露して、大きな拍手を浴びておられました。

「元氣の秘訣は特にありません」と言われる橋

本さんですが、こうして九十歳を超えても笑顔を絶やさず前向きに活動をされていることが何よりの元氣の素なのでしょう。

先の戦争では、中国東北部（満州）から台湾まで転戦したという経験を心に秘め、橋本さんの「話し方教室」は、まだまだ精力的に続くようです。

(広報部 枅野 恵次)



### \* お知らせ \*

「こんにちは 赤ちゃん!」は、前91号をもちまして終了しました。長らくのご愛読ありがとうございました。

代わりまして、新コーナー「住人十色」がスタート。地域でご活躍の”あんな人こんな人”を紹介します。ぜひ、ご愛読ください。

(広報部 枅野 恵次)

## 第一回オヤジ会ゴルフコンペ 女性参加OKの「北六甲台OG会」も参加

北六甲台と周辺のオヤジ達が集う「ちよい呑みオヤジ会」の中で、ゴルフ愛好家たちが初めて親睦コンペを計画し、三月十五日、神戸市北区の神戸パインウッズゴルフクラブで、第一回「オヤジ会ゴルフコンペ」を開催しました。



当日は、三組十二人が参加。前夜の雨も上がったコースでは、ナイスプレーの合い間に珍プレーも飛び出し、笑顔満開の楽しいラウンドになりました。

スコアは、ダブルペリア方式で集計され、優勝、飛び賞、ニアピン賞などが贈られ、参加者の会費の中から用意された賞品がそれぞれに渡されました。

また、コンペのもう一つの目的である親睦会は、プレー後、パーティー会場で開かれ、それぞれのナイスプレーに大きな拍手が贈られました。

この親睦会の話し合いで、会の名称と今後の活動手順などが次のように決まりました。

コンペの名称は「北六甲台B.G.会」。オヤジ会では男性限定になり、女性の参加希望者もあるようだというところで、ボーイ(B)とガール(G)をもじって、女性も集える会にしようと呼びかけられました。

運営は、コンペの優勝者と準優勝者が次回の開催日時や場所を決める持ち回りとし、今後は年三回程度の開催を目指すことなどが、申し合わされました。

第二回の開催は、六月七日(水)北六甲カントリー倶楽部。四組の予定で、参加者を募っているそうです。

(広報部 枅野 恵次)

## 第十四回KAWAOKUS

# 「花の園」に「おまたえ」楽し

平成二十九年度”さくらまつり”が四月一日(土)に有馬川緑道で開催されました。

桜なしで人は来るのか?

開花が心配された桜は無常にも固い蕾のまま。朝から気温も低く寒い。「桜の咲いていない」さくらまつり」に果たして人は来るのだろうか?という主催者側の懸念は結局は嬉しい誤算となり、始まりから大勢の人出とりました。



### 食べて遊んで

来場者の一番のお目当ては屋台の食べ物で、屋前にはあちこちで行列ができていました。「今年は食べ物種類が増えた」と好評で、一番人気のたこ焼きはなんと二時間で四百個以上の売り上げだったとか。豚汁に焼き鳥、良い匂いのワッフルは中学生が焼いています。ポン菓子も子ども達に大人気。ゲームも多彩で、特に社協分区主催のスーパールや魚つ



りは大人気です。空き缶を吊り上げる「魚つり」は初めて見ました。

最近、子どもの遊びはDSなどデジタル主流の様ですが、昔は夜店でよく遊んだものです。「さくらまつり」は、このよくなアナログ的遊びをみんな楽しんで数少ない機会を提供しているように思われました。



皆が楽しめる祭り  
勿論、桜が咲いていて暖かければより楽しかったでしょうが、今回の「さくらまつり」は「花はな」とも人々はやはり祭りが好き」ということを証

明したように思われます。「屋台」「遊び」「フリーマーケット」この三本の柱が各年代の人々を集めるのでしよう。聞いてみると、「さくら?あまり気にしてなかったです。小さい子どもが行く所がないのでね。」とのことでした。

また、祭りでは来る人だけでなく、やる人達も楽しそうです。準備など大変だとは思いますが、若者男女が一丸となり力を合わせて何かを作り上げるのは楽しいものです。そんな機会もこの「さくらまつり」は提供しているように思われます。

人々の交流、世代間の交流が失われつつある現代社会で「桜と祭り」両方揃ってこの様な市民の手作りイベントが行えるこの地域の素晴らしさを再確認した機会でした。

(広報部 小林 和泉)



### 管外バス研修

## 伏見と宇治の歴史と伝統

三月三日、日頃分区等でボランティアされた皆様、日本の文化伝統に接する機会を提供しながら、親睦交流の場とし、次なる活動への英気を養う機会として実施しました。

最初は伏見の月桂冠大倉記念館での酒蔵見学で糖化と発酵を同時進行させるなどの複雑な酒つくりの工程の説明を受けながら、お米と麹菌と酵母の微生物を働かせての工程等、酒造りの歴史を学びました。



次に、世界遺産でもある宇治の平等院を拝観散策しました。池に囲まれ建つ鳳凰堂の優雅さは十円玉にも刻印されているほどで、日本建築のすごさを感じ知らされました。宝物の展示館鳳凰堂に展示されている雲中供養菩薩像「舞う像」は圧巻でした。最後に訪れた宇治市立源氏物語ミュージアムは、日本文学の粋でもある紫式部の源氏物語のシーンなどが復元模型などビジュアルに展示説明され、平安文化を体感できました。近場の伏見・宇治での歴史、文化、伝統の学びの場でしたが、研修としての堅くするしさではなく、見学を兼ねた懇親の場としても意義深い一日でした。(研修部 生田 收)



### 第二回福祉(健康)講座

## 腰痛の症状とりハビリ

今回も、三月十一日(土)午後一時半より北六甲台コミュニティセンターで「山口町おかげきくりニック」院長、岡崎賢治先生をお迎えし、「健康講座」を開催しました。プロジエクターを使って腰の構造として筋肉・腰椎の説明をされながら、次のようなお話を伺いました。

\* (非特異的腰痛)

腰痛で悩んでおられる方の八十五%がほとんど原因がはっきりしない、レントゲンやMRIで異常を認めない無症候性腰痛であるとのこと(腰の痛みで悩んでいるほとんどは原因がはっきりしない)安静は逆効果。急性腰痛には運動療法は効果が無い。慢性腰痛(三カ月以上)には運動療法が有効。



\* (特異的腰痛)

・背柱に由来するもの  
・腰以外に由来するもの  
・やみくもに強いマッサージを受けるのは、危険であるとのアドバイスあり  
終わりに、薬物療法・物理療法・理学療法・認知行動療法・神経ブロック療法、といった治療法が紹介されました。



後半は、中居理学療法士さんからリハビリ療法として、日々の生活の中で無理なく手軽にできる幾つかのリハビリ法の紹介がありました。受講者からの質問も多くあり、腰痛もちらちらの方がたくさんいらっしゃるのだと感じました。二回に渡る健康講座を開催いたしました。ありがとうございました。まず健康を痛感した次第です。(研修部 生田 收)



### 安心キット・アンケート

## 回収率80%以上!



昨年に実施しました「安心キット」の登録者対象アンケート調査で、全体の集計作業がほぼ終わり、三月七日の社協分区役員会でボランティアセンターから結果が報告されました。

総配布数六百五十六件に対し、回収されたのは五百四十三件のほり、回収率は八十一パーセントを超え、ことになりました。内容的には、八十一パーセント近い人たちが、「『安心キット』の必要性を感じている」と回答するなど、「安心キット」への理解が広がっている

ことが判明しました。一方、身体状況などを記したシートについて、「状況の変化によって書き直しをしている」と多くの人が回答していましたが、「書き直しをしていない」と回答した人も相当数あり、今後の課題の一つとなりました。個々の内容については、今後の活動の貴重な参考にして参ります。アンケートへのご協力、ありがとうございました。(広報部 枅野 恵次)

## 社協分区二十年誌発刊!

「誰もが安心していきいきと生活を暮らせる共生の町」をめざして

### 社協北六甲台分区20年の歩み



西宮市社会福祉協議会山口支部 北六甲台分区

昨年の社協分区総会で確認された「分区二十年誌」が一年をかけて発刊され、今年の総会で出席者に配布されました。二十年の歩みが自治会等の地域の動向も含めて年度ごとに記述され、年表とともに写真や広報紙も掲載された四十一頁の冊子です。千五百冊の発行ですが、社協や地域団体、関係先への配布のほか地域住民の皆様にも申込みがあれば無料配布致します。申込方法等は別途、ご案内します。

## よりよいサポーター交流会

昨年発足した「よりよいサポーター」を支えるサポーター登録者が初めて一堂に会して当面の課題などを話し合う、第一回「よりよいサポーター交流会」が、三月十四日、北六甲台安心プラザで開かれました。



この日までに登録されているサポーターは二十四名(男性十五名、女性九名)。利用登録者も九名となり、すでに四件のサポート事例が行われていました。

交流会には、このうちサポーター十二名とコーディネーター十名が出席。自己紹介のあと、活動報告として、四件の事例について実際に活動されたサポーターの人たちが体験と感想を交えて報告されました。この中で、例えば庭木の剪定や草むしりなどに関する必要作業時間や回数を事前に設定することの難しさや、作業の後始末に時間がかかっても活動時間には含まないことがボランティアではないか?などの意見が出されました。また、ボランティア保険に関する質疑なども交わされました。



(広報部 枅野 恵次)